

# 千葉教育

## 菊

令和6年度  
No.688

千葉の子どもたちの未来のために

**特集**

## 小中一貫教育の現状

### ○シリーズ 現代の教育事情

筑波大学人間系 教授  
我孫子市教育委員会指導課  
鴨川市立長狭学園 校長

樋口 直宏  
関口 和則

### ○提言

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・  
チャリティーズ・ジャパン 東大ハウス



千葉県総合教育センター

- ◆学校自慢 加茂から世界（グローバル）につながる生徒の未来づくり  
市原市小中一貫教育校 加茂学園 市原市立加茂小学校 市原市立加茂中学校校長 村松 邦生
- ◆提言 みんなで支え合う社会に向けて～ドナルド・マクドナルド・ハウスの紹介～  
（東大ハウス ハウスマネージャー代行 藤本氏 インタビュー要旨）  
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 東大ハウス…2

## シリーズ 現代の教育事情 小中一貫教育の現状

- 小中一貫教育の実践と課題 筑波大学人間系教授 樋口 直宏…4
- 我孫子市の小中一貫教育の現状と取組 我孫子市教育委員会指導課…8
- 小中一貫校「長狭学園」の現状と今後（黎明期から充実期へ）  
鴨川市立長狭学園 鴨川市立長狭小学校 鴨川市立長狭中学校校長 関口 和則…10

## チーム学校の仲間たち

- 学校を創る 社会関係資本とのチームでワクワクする学校に 船橋市立金杉台小学校校長 竹森 正人…12
- 学校を支える 私の日々の実践（取組） 九十九里町立片貝小学校教頭 青江 智史…14
- 学校を動かす 県立柏井高等学校の実践の紹介 県立柏井高等学校教諭 三神 陽…16
- 授業を創る 授業を核とした学年経営－協働的な学びの手法を取り入れた授業実践を通して－  
八千代市立村上東中学校教諭 鈴木 辰英…18
- 授業を創る 生きた教材となる献立作成 佐倉市立和田小学校栄養教諭 森 美貴…20
- 事務室から チームを意識した事務職員としてのかかわり  
流山市立おおぐろの森中学校副主査 根本 隼人…22
- 保健室から 「毎日の生活と健康」～自分の体調を伝えてみよう～  
市川市立稻荷木小学校養護教諭 石原 晶子…23

## 長期研修生報告

- 令和5年度長期研修生の研究の紹介 令和5年度長期研修生…24
- 教職大学院研修生の研究の紹介  
校内実践事例に関するポータルサイトの運営を通じた1人1台端末の活用の推進  
千葉市教育センター指導主事 赤岡 俊輔…28
- 大学院研修報告  
地域連携を継続・発展させていく学校組織体制のあり方－福祉系高校に焦点をあてて－  
県立松戸向陽高等学校教諭 望月 玲子…29

## ケーススタディ～Change the world～

- 未来を創る学び－生成AIとICTが拓く教育の可能性－ 船橋市立飯山満中学校教諭 内藤 亮生…30

## 情報アラカルト

- 開館50周年記念特別展「浅井忠、あちこちに行く－むすばれる人、つながる時代－」 県立美術館…32
- 開館30周年記念 令和6年度企画展「見る－生き物の目・機械の目－」 県立現代産業科学館…33

## 学校 NOW！

- 高校NOW！ 【連載・県立高校の今】令和6年度 第3回  
県立土気高校（保育基礎コース）令和6年度再編校の紹介（令和6年度掲載のおさらい）  
県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室…34
- ◆発信！特別支援教育 主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり～児童生徒一人一人に合わせたICT機器の活用～  
県立千葉特別支援学校教諭 野村裕美子…38
- ◆千葉歴史の散歩道 博物館の体験学習で歴史を散歩する  
県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 畑中乃咲佳

## 道 標

平成26年5月の教育再生会議において「小中一貫教育を制度化するなど学校段階間の連携、一貫教育を推進する」ことを求めた第5次提言が取りまとめられた。同年12月には中央教育審議会から、義務教育9年間の教育課程を一体化した「小中一貫教育学校」の創設など小中一貫教育の制度化が答申された。これらを受け、平成27年6月に学校教育法等の一部改正により、平成28年度から新たな学校種である「義務教育学校」や9年間の教育を一貫して行う「小中一貫教育型小学校・中学校」である「併設型小学校・中学校」の設置が可能となった。

これらの制度改正によって、義務教育9年間を通じた継続的な教育活動を行う小中一貫教育の取組

を継続的・安定的に実施できる制度的基盤が整備された。

本県においては、平成21年4月に鴨川市立長狭学園長狭小学校、長狭中学校が県内初の小中一貫教育校「長狭学園」として開校した。長狭学園の開校から15年を経て、本県においても様々な義務教育学校、小中一貫校が設立され、地域の課題や実情を踏まえた教育課程が展開されてきた。

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』でも言及されているように、9年間を見通した新しい時代の義務教育の在り方を考えていくことが必要とされている。本号が小中一貫教育をより発展していくための一助となれば幸いである。